



1st community わたらせ “だより”

発行 古河第一地区コミュニティわたらせ
広報部会
2022.9.1
問い合わせ

一時の猛暑もやっとおさまり、最近は少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。
そして“わたらせ”もコロナ禍ではありますが少しずつ活動が活まりました。

★ 活動報告並びに活動予定

歴史・文化部会

歴史博物館の「夢あんどんと夕涼み」が去る8月14日・15日に2年ぶりに開催されました。わたらせでは歴史文化部会を中心に実行委員会に参画し当日のお手伝いをしました。両日天候にも恵まれ大盛況でした。



防災・安全部会



- ・9月4日(日)池袋防災会館にて部会員が防災研修に参加いたします。これを機に益々地域の防災意識を高めていきたいと思ひます。
- ・「子供と高齢者を見守るパトロール」のプレートを昨年に引き続き各自治会に配布をいたしました。皆様のご協力のもと地域の安全を見守っていきたく思ひます。

健康・福祉部会

11月に地域の皆さんの健康促進のための出前講座を開催します。自治会長を通じ参加者を募集いたします。詳しくは次回の広報でお知らせいたします。

広報部会

今月号より第一地区の36自治会を「自治会名の由来・自治会のお宝」等を中心に順次紹介していくこととなりました。
第1回目は「石町」「江戸町」「紺屋町」です。裏面に掲載

お願い

コミュニティわたらせへのご意見・ご提言をお待ちしております。
また、活動への参加希望の方がいらっしゃいましたら個人でも団体でもお知らせください。

窓口担当 副会長 関
事務局長 小出

第1地区コミュニティ自治会紹介

part1 石町・part2 江戸町・part3 紺屋町

石町



石町の名称はこくちょう、米穀商が軒を連ねており「穀」が「石」に転じたものと言われ、明治中期の頃は14件もの米穀問屋がありました。

現在も銭屋米穀店さんがあり石町の由来を残してくれております。町内には米穀商の家だった浮世絵師「河鍋暁斎」の生誕の碑もあります。

さらに平成3年3月、日本に唯一ここだけの篆刻美術館が開館。大正ロマンを偲ばせる珍しい3階建ての石蔵です。平成10年には国の登録有形文化財に登録されました。古河市出身の「生井子犖」の作品をはじめ、篆刻にかかわる封泥や印材を展示しています。また篆刻体験も行っています。一度挑戦してみてはいかがでしょうか。

江戸町

江戸町という町名の由来は古河城の大手門近くで江戸のように、にぎやかで、商家が栄えたので江戸町になったとか。また他には、昔は江戸との交通の手段としての渡良瀬川が近くにあり、江戸と古河の交通の入り口ということで江戸町になったという説もあります。

数十年前の江戸町は大正時代の建物が江戸町通りに残っていましたが、今は永井路子記念館・町内会議所(番屋)など数軒になってしまいました。夏祭りの番屋は2階に提灯を飾り、お祭り気分が盛り上がります。

番屋は古くなりましたがこれからも大切に保存していただきたい建物の一つです。



紺屋町



紺屋町という町名は、かつて古河の城下において染物商人が住んでいた地域であり、その色の主流が「紺」であった事に由来しています。武家の居住区と境を接しつつ独自に町人のまちとして発展し、昭和の時代には多くの小規模飲食店が軒を連ねていました。

加えて映画館や模型・玩具店など幅広い年齢層に親しまれましたが、商店の大型化の時代を迎えると住宅街へとその姿を変えていきました。

町内の北側には江戸期に建立された天満宮があり、春には梅の花が合格祈願の参拝者をお迎えします。境内に接する道路は近隣の史跡にも通じ、休日には地図を広げた遠方からのお客様が数多く歴史散策を楽しんでいます。

自治会の紹介は順不同です。
お時間のある時、是非散策してみてください。いかがですか。
今まで気づかなかった新たな発見があるかもしれませんよ。